

会 議 録

1 会議の名称	令和3年度 第1回 石岡市空家等対策協議会
2 開催日時	令和3年10月5日(火) 午前 9時30分から 午前10時20分まで
3 開催場所	石岡市役所 本庁舎2階 202会議室
4 出席した者の氏名	(委員) 谷島会長, 三輪清司副会長, 檜村委員, 三輪善夫委員, 松本委員, 中島委員, 関委員, 岡野委員 (事務局) 生活環境部: 鈴木部長, 萩原次長 生活環境課: 櫻井課長, 松川補佐, 岡野係長, 飯田主任 (オブザーバー) 建築住宅指導課: 林課長, 福田係長
5 議題	(1) 石岡市空家等対策協議会要綱一部改正について (2) 石岡市空家等対策計画の計画期間について
6 協議の内容	議事録のとおり
7 担当課の名称	生活環境部 生活環境課

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

1) 石岡市空家等対策協議会要綱一部改正について

事務局：

資料1, 2に基づき説明

会長：

ただいま事務局より、空家等対策協議会要綱一部改正について説明があったが、質問・意見等はあるか。

委員：

案2の別表でA・B・Cのランクに不明とあるが、不明とはどのようなことか。

事務局：

調査時にどのような状態なのか確認できないもの。

委員：

空家か、空家でないか、どのように空家を見つけているのか。

事務局：

調査については業者に委託しており、水道の使用状況などで使用されていない状況の家屋等を洗い出し、現地の実態調査を行い、空家であるか、空家でないかを確認している。

委員：

今回の判断基準は点数で判断するが、各々の点数が高いのですぐに100点になってしまうのではないか。

事務局：

今後、建築士会等と検討したい。

会長：

案1は点数評価のない改正、案2は点数評価による改正となっておりますが、委員の皆様どちらの案が良いか決定していただきたい。

委員：

案1については、今まで通り表を使い評価する。案2については、判断基準を数値化して評価を明確にするという考え方でよいか。

事務局：

判断基準の数値化により明確になるので、事務局としては案2の方で進めたいと思う。

会長：

事務局としては、数値化して曖昧さを無くすと言うことでよろしいか。

委員：

案2の方がよろしいと思う。この数値化の数字は何を基準にした点数なのか。

事務局：

先進地を参考にした。今後、点数については建築士会等と協議して参りたい。

委員：

要綱第7条の1号から5号の判断基準と別表の判断基準の項目と整合性があるのかなと考
えますので、整合させたほうが良いのではないかと考えます。

会長：

ただ今、〇〇委員からありましたように、第7条の1号から5号の内容が別表のどの項目
に該当するのか、一目でわかるようにしたほうが良い。

事務局：

第7条の1号から5号の内容と別表の項目等の整合性を図り進めてたい。

谷島会長：

皆様、要綱の一部改正につきましては案2で決定してよろしいか。

(異議なしとの声)

2) 石岡市空家等対策計画の計画期間について

事務局：

資料3に基づき説明

会長：

説明が終わりましたが、委員の皆様からの意見等はございますか。

委員：

今回の調査も外部委託か。

事務局：

後の報告事項でも述べますが、今回の空家等実態把握調査においても外部委託している。

会長：

それでは計画期間を1年間延長することで決定してよろしいか。

(異議なしとの声)

4. その他

1) 令和3年度石岡市空家等実態把握調査について

事務局：

空家等実態把握調査について説明（配布資料なし）

<質問等なし>

2) 空家バンクについて

事務局（オブザーバー・建築住宅指導課）：

資料4に基づき説明

<質問等なし>

5. 閉会